

山荘特集

利用者の減少、赤字の累積で存続がむずかしい状況にある
軽井沢山荘について、特集いたしました。

皆様のご意見を是非お寄せください。



春を待つワカバ山荘 (今年 2 月)

わ か ば

ワカバ会

51 号

東京都立三田高等学校
同窓会
社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46
電話 (03)3451-0227
FAX (03)3452-4590
E-mail :
t-mita@wakaba-kai.org

時間
午前10時～午後4時
休日
土曜・日曜・祝祭

お待たせしました — ワカバ会は E-mail を開設いたしました。

E-mail : t-mita@wakaba-kai.org

第65回 同窓会総会のご案内

日時：平成14年 **5月19日(日)** 議題：平成13年度事業報告／決算報告
正午～午後3時 平成14年度事業計画／予算案審議

会場：母校音楽講堂

会費：1,000円

- ◆議事終了後、なつかしい先生方を囲んで昼食会をお楽しみください。
- ◆福引大会も行います。たくさんの賞品にご期待ください。
- ◆新会員（54回生）は無料ご招待です。
- ◆ホームカミングデーにあたる方は特典があります。次のページをご覧ください。
- ◆是非皆様ご出席ください。

会員の皆様へ

ワカバ会会長 小野 紘一
(813)



ワカバ会は今年三田高校第五
四回卒業生二七
〇余名を新たに
迎え、約二万名
を超す会員を擁
する大きな組織となっておりま

す。このような大組織になったにも拘わらず、会としての最高意志決定機関である総会に出席する会員数は殆ど横這いかむしろ微減している状態です。

ワカバ会はその長い歴史において、第六高女の先輩による熱心な尽力により運営されて参りましたが、今日では三田高校の卒業生がこのような良き伝統を引継いで運営すべき時代になっております。

このような、ワカバ会の活動は会員の皆様が毎年一回任意に納入される維持会費を基盤として行われております。母校である三田高校の繁栄とワカバ会の仲間の絆を一層強めるため、会員の皆様の力を結集することを期待いたします。

ところで、本年も軽井沢山荘は、事業運営委員会等の努力により、例年どおり開荘することになりました。

これまでも機会のある毎に皆様の数多い積極的な利用をお願いしてまいりましたが、ここ数年の間の山荘の利用者数は相当に減少し、赤字が累積しているため、このままでは存続が難しい状況にあります。会としても理事会内に山荘委員会を組織し、山荘の継続の可否について検討することといたしました。

さらに、本号において山荘の歴史や現状について特集いたしました。事務局内のEメールを通じて山荘の利用のみならず、山荘のあり方その他ワカバ会の事業についても会員の皆様のご意見をお寄せくださることを期待しております。

この山荘は一九六六年から先輩のご苦勞により建設され三六年間という長い年月運営されてきた山荘ですから、できる限り存続を図りたいと存じます。皆様のご協力をお願いする次第です。

伝統の継続

ワカバ会名誉会長 三田 敏男
三田 敏男
三田 敏男



ワカバ会会員の皆様におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。東京都立

三田高等学校も、来年度で創立八〇周

年を迎えることとなり、日々新しい歴史を創造しているところであります。

さて、皆様ご承知のように、本校の教育目標は、健康で知性が高く情操豊かで、積極的・誠実な人間を育成するということであります。私は、益々国際化、情報化が深まる現代社会において、不易なこの教育目標を改めて評価しております。さらに、現在進められている教育改革の理念の「生きる力の育成」とは本校の教育目標そのものである、とも考えております。

それは、今日堂々と頼もしく社会の第一線に立ち、実力を発揮され指導者として活躍されている会員の方々の、現役三田高生時代と同じく、勉学にあるいは部活動にと、ひたむきに熱中する本校生徒の姿は、健在であるからであります。

これもひとえに、一九二三年開校以來、二万名を超える卒業生の方々を持つ、本校の長い伝統の賜物であります。長く輝かしい歴史に加えて、さらなる都立三田高校の充実発展のために、ワカバ会会員の皆様の、今日までの物心両面に亘るご援助に感謝申し上げますとともに、今後尚一層のご支援をお願い申し上げます。

ホームカミングデーの皆様、ぜひ総会へ！

ワカバ会では、今年度総会から「ホームカミングデー」を新設しました。クラス会や同期会として活用していただき、旧交を温めるとともに、母校をたずねて現況を知る機会にもしていただきたいと思います。今年のホームカミングデーにあたるのは、平成4年(44回生)、昭和57年(34回生)、昭和47年(24回生)、昭和37年(14回生)、昭和27年(4回生)、昭和17年(第615回生)、昭和7年(第65回生)の各3月に卒業された方々です。当日ご出席下さった皆様には集合写真を進呈します。また、福引ダブルチャンスのホームカミング賞、特設テーブルの設定もいたします。

維持会費納入のお礼とお願い

活動の資金確保にご協力を

ワカバ会の会計は、会員の納入会費、事業収入、基本財産の利子収入から成り立っていますが、近年の経済事情から、主力だった利子収入がほとんどなくなり、山荘などの事業収入も赤字で、会員から納入していただく維持会費が重要な活動資金源になっています。

約二万人のワカバ会会員のうち毎年ご協力いただいているのは約四千人で、活動を充実させるには厳しい状況になっています。

このため、昨年の理事会決定で、より多くの会員に維持会費納入をお願いするため、広報誌「わかば」送付時に春・秋号ともに振込用紙を同封、毎年一回、一口二千元を、ご都合の良いときに納入していただくようにし、その旨、秋号広報紙上に記載いたしました。

その結果、多くのワカバ会員が送金してくださいました。しかし、中には春秋重複して送金された方もあり、多くのご質問やお叱りが事務局に寄せられました。重要な理事会決定として、もっと大きく分かりやすい紙面で周知すべきでした。反省し、お詫び申し上げます。

なお、重複して送金された方については、十四年度維持会費の前受けとさせていただきます。誠にありが

とうございました。秋号で平成十三年度会計報告をさせていただきます。

理事会では従来手作業で行ってきた会員の会費納入管理を、コンピュータ化する計画を進めてきましたが、関係者、事務局の努力でこのほどようやく準備が整いました。

維持会費振込用紙は、今後とも年二回送付いたしますが、これからは会費を既に納められた方の振込用紙には、その旨明示し、皆様からの送金が重複しないようにいたします。どうぞ諸事情をご了解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

維持会費制度とは？

維持会費の制度は、昭和60(1985)年の「会費徴収に関する改正案」(同年わかば27号に記載)によるものです。昭和六十年以前からの会員は、卒業時あるいは卒業後に「終身会費」を納めておられるのですが、社会経済状況の変化が大きく、会費検討委員会の討議を経て「今後の会の維持発展のために、毎年一口二千元の維持会費を任意に納めていただく」とになりました。三田高校39回(昭和六十二年卒)以降の会員には卒業時に入会金をいただき、以後は同様に毎年維持会費をお願いすることになっております。

支部連絡先

札幌	5-エ	白居 和子	〒064-0917	札幌市中央区南17条西12丁目-2-25	011-561-8810
東北	7-ウ	寺嶋 辰代	〒981-0411	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
さいたま	18修才	中村 泰子	〒336-0014	さいたま市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261-0012	千葉市美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	19-ウ	越村 苗子	〒251-0031	藤沢市鵠沼藤が谷3-5-21	0466-23-5441
静岡	5-2	稲葉和寿子	〒422-8071	静岡市豊原町2-13	054-285-6573
東海	2-2	神野能生子	〒440-0806	豊橋市八町通4-48	0532-53-3261
関西	18-イ	竹山 敦子	〒560-0003	豊中市東豊中町4-1-45-509	06-6849-5222
京都	5-オ	山田 啓子	〒617-0824	長岡京市天神4-6-15	075-951-1477
福岡	7-3	爲数 俊子	〒818-0101	太宰府市観世音寺6-16-16	092-923-0849
大分	4-4	山下 延子	〒870-0826	大分市城南西町2A-27-2712	097-543-4233

OB会連絡先

(ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部 名	代表者又は連絡係	卒業回数	〒	住 所	電話番号
アメフト	五十嵐 清	29-3	141-0021	品川区上大崎 1-5-10	3441-8384
三籠会(バスケ)	山田 一穂	8-3	270-2241	大室様方 アメフト部後援会気付 松戸市松戸新田 443-25	047-364-7514
ラグビー	内藤 宗大	15-3	270-1359	印西市木刈 2-29-3	0476-46-4195
バドミントン	高木 俊輔	48-3	361-0022	行田市桜町 1-24-1-103	
弓 道	石井 健一	42-8	144-0052	大田区蒲田 3-10-5-308	3732-4960
管弦楽(室内楽)	甲斐 順也	44-8	105-0022	港区海岸 2-5-15-205	3456-8702
バレーボール	佐藤 大悟	47-2	144-0055	大田区仲六郷 1-24-9-601	3733-1326
水 泳	井上 優子	51-3	144-0044	大田区本羽田 1-29-15-401	5735-5280
卓 球	橋本 一夫	19-6	300-1266	稲敷郡茎崎町自由が丘 430-12	0298-76-2101
フォークソング	和田 典也	33-4	108-0074	港区高輪 2-1-11-611	5420-7650

山荘特集

つづくられ、三田高校卒業の後輩もみんなで協力して守ってきた大事な資産です。今後も継続できれば良いが、毎年大赤字で運営を続けるのは健全な同窓会活動の妨げになります。皆さんのご意見次第で、決断する時はきっぱりとしなければなら

私はこのまま運営を続けるのは難しいと思います。山荘は第六高女卒業の先輩たちが中心になって、同窓生の交流の場として

長い間、事業運営委員長として軽井沢山荘の運営に尽力されてきたお立場から、同窓会の山荘の今後についてどうお考えですか。
 答 私は昭和五十七年に今の新館が完成した時、ホテル業の専門家ということで故高橋登志先生に頼まれて、同窓会のお手伝いを始めたのですが、それから十五年、バブル期を経て時代の流れが大きく変わりました。日本人のレジャー感覚が生活様式の変化につれてすっかり変わつた。今は民宿や会社の保養所は人気がなく、有名観光地の大旅館もさびれていきます。軽井沢山荘もそういう変化に取り残されてしまつた。

時代を映す 利用者の減少

厳しくなった山荘の運営

山口謙一郎理事(8-1)に聞く

業者に契約してやらせてきましたが、安心して任せられる業者に契約してやらせてきましたが、安心して任せられる業者に契約してやらせてきたが、



業者に契約してやらせてきたが、安心して任せられる業者に契約してやらせてきたが、

後減り、平成四年以後は一千人以下、昨年は五百人になった。毎年五百万近い赤字です。駐車場事業の収益で補てんしてきましたがもう限界。利用者を増やすには、屋根の葺き替えなど大改装が必要ですが、大金を注ぎ込んでも今後の利用者増の見込みが立ちません。夏季だけの営業は人手の確保も難しい。安心して任せられる業者に契約してやらせてきたが、

ないとはいえない。山荘を改装するなどして利用者を増やせば、継続は可能ですか。
 答 二つのグラフを見て下さい。この山荘を夏季だけの営業で維持していくには毎年利用者が千二百人はいないと収支が取れません。それが運営開始から十年しないうちに利用者

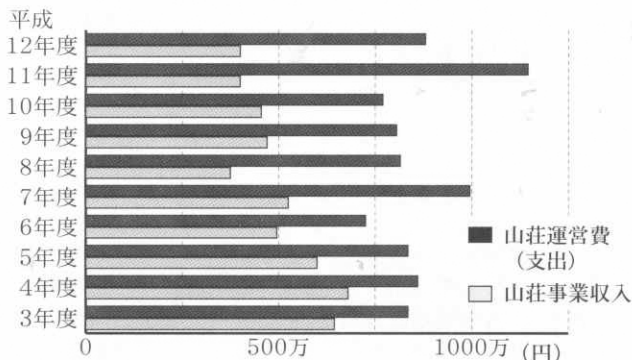
快適性を維持するには、空調や雨漏り、冷蔵庫の修理など設備管理費も恒常的にかかります。多くの同窓生に軽井沢の山荘なら行きたいと思わせる魅力が乏しいのだとしたら、私はもう継続は無理かなと思っていました。軽井沢そのものの魅力も問われている昨今です。

問 ワカバ会の福利厚生事業を続けるためには、山荘を売却して、会員制のホテルなどと契約する方法もありますね。

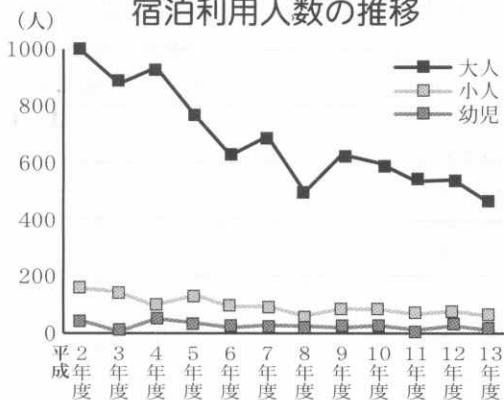
答 それもなかなか難しいです。経済不況とレジャーの変化で軽井沢の別荘地では不動産はほとんど売れないようです。山荘の建つレイクニータウンは特に不利のようです。閉荘する場合にその後どうするか大きな課題です。どなたかが、個人の別荘や会社の保養所として借り上げた、買い上げたりしてくれば一番良いのですが、とにかく多くの会員の考えをうかがって決めなければなりません。山荘に替わる新しい事業が必要かどうか、若い世代を含めて意見を良く聞かないと同じことになってしまいます。そのためにも三田高校の卒業生にワカバ会という同窓会自体にもつと関心を寄せて結果して頂き、同窓会の事業として何をすべきか知恵を出し合って理事会を支援して頂きたいと思っています。

(文責・広報委員会)

山荘の収入・支出



宿泊利用人数の推移



山荘は重要な交流の場

今後は多角的な検討が必要

前ワカバ会会長 若菜 允子 (514)



開荘当時から
事業運営委員会
のイベントに参
加したり、クラ
ス会や友人との
個人的な旅で泊
まつたり、数え
切れないほど利用しています。同窓会
の経営ならではの和やかさと落ち着き
があり、同窓生の貴重な交流の場にな
っていると感じてきました。それには、
長年委託してきた(株)明食サービスの
誠実な山荘経営に負うところが大きか
ったと思います。

私は会長として現山荘の建設に関わ
りましたが、建設当時は、時代の潮流
もあり、新旧同窓生の交流・親睦の場
として私たちの山荘を作ろうという皆
さんの熱い気持ちの高まりがあり、こ
の会員の熱意によって現山荘は誕生し
ました。基本財産の一部をあてて建物
を建て、什器や設備は会員の寄金でと
決めると、約二千人から目標を越すお
金が集まりました。

今、この山荘も建設以来二〇年近く
が経過し、利用者が減って、閉めるか
どうか問題になりつつあります。今
後宿泊者の増加が見込めるかどうか

判断の力ギになると思います。そ
のため、私はまず、会員のワカバ
会への関心の度合い、山荘利用の
意思、宿泊料金、宿泊施設の態様、
駅からの送迎方法など、もう一度
多角的に検討する必要があると思
います。

山荘を継続する場合の最大の問
題点は、軽井沢駅からの「足」の
確保と料金設定です。例えば、一
日二往復でも片道千円ぐらいのマ
イクロバスを走らせることができ
れば、高齢者でも若者でも気軽に
宿泊でき、併せて料金も割安感があ
れば宿泊人数は増加することも考えら
れます。

いずれにしろ、理事会が責任を持
て検討し、根拠を示して明確な判断を
しなければならないと思っています。



夏の山荘

軽井沢山荘の36年の歩み 同窓生の憩いの家

ワカバ会軽井沢山荘は、初代
会長の故丸山丈作・東京府立第
六高等女学校長や、その薫陶を
受けた先輩たちが「生涯教育」
「社会奉仕」を目指して行つた
事業の利益や、会員の熱意ある
協力寄金で開設された。以来、
新館増築を経て三十六年間、緑
濃い森の別荘、憩いの家として、
第六高女、三田高校同窓生の交
流、親睦に使われてきた。広報
誌「わかば」の記事からその歩
みを振り返った。

▽昭和38(1963)年、南軽井沢
レイクニュータウン裏手の高台に一千
坪の土地を購入(約三百万円)、ワカ
バ会総会で山荘建設計画を可決。

▽昭和40(65)年、山荘完成(木
造三階建て、客室六、二十名収容)建
設費、設備費など約七百万円は、すべ
て会員の寄付とバザーなどの事業収益
でまかなう。年間維持費百十四万円。

▽昭和41(66)年、利用開始。

四月から十一月まで、会員利用費は一
泊二食九百五十拾円。

▽昭和53(78)年、夏季七、八月
の営業に、一泊三千円。建物の老朽化
と会員数の増加に増築を論議。

▽昭和55(80)年、臨時総会で、
創立55年記念事業として、山荘増築計
画を可決、山荘建設実行委員会(実行
委員長若菜允子会長、募金委員長・高
橋登志理事)を立ち上げ。建築費六千

万円は基本財産の一部を当て、設備備
品など一千万円を一口二千万の会員寄
付で。

▽昭和57(82)年六月、高校8回
生の設計で、大屋根のロτζ風の新館
が完成。木造二階建て三百三十六平方
メートル(七室・二十二名収容)。渡
り廊下で接続する旧館は二階をサロン
に。営業は七月一日から九月二十日。
一泊四千八百円。野鳥を聞く会、野草
を楽しむ会など行事多数。利用者千七
百名で、数年ぶりに収支が黒字に。

ワカバ会理事会の下に各種委員会を
設置し、会務経営に責任体制確立。山
荘は「事業運営委員会」(山口謙一郎
委員長)が担当。

▽昭和58(83)年、山荘建設募金
は二千名以上の会員から目標超す千四
百万円が集まり、三月に収支決算報告。
七月一日から九月二十五日まで営業、
一泊五千円。野鳥と野草の会、親睦ゴ
ルフコンペなど恒例行事に。

▽平成2(90)年、宿泊は新館の
みに。利用者増強を目指して、春の
「わかば」紙上で高校四〇回卒の若手
会員の筆とイラストによる特集・軽井
沢山荘のすべてを紹介。

▽平成5(93)年、この年以後、
宿泊利用者一千人以下で赤字増大。駐
車場収入から補てん。

▽平成13(2001)年、利用者は
大人四百六十人、運営費は利用料収入
の二倍に。

う考えますか？

(と略す)が多額の赤字で窮地に立たさ
思いますが、これまで多くの会員に愛
が聞かれるのもまた事実です。そこで、
いしてご意見をうかがってみました。
心から御礼申し上げます。)

を参考に、山荘についての皆様からの
取得しましたワカバ会のメールを是非

(03) 3451-0227

(03) 3452-4590

: t-mita@wakaba-kai.org

既に述べたとおりですが、それでも尚、運
も継続した場合、当然赤字経営が予想さ
ましたら、是非お聞かせください。

立地条件(交通の便が悪い)部屋が狭い、
ないと思われます。(一度行った時もタクシ
変わらなくなってしまいました。)(9回生)
が、先輩方共々力を合わせて建てた施設で
のが良いと思っています。利用して下さる
は駅から山荘までのタクシー代が高いので
人千円以内で送迎が出来る方法があるとよ
れる方、助かるのではないのでしょうか。

(10回生)

聞いたことがあります、山荘を利用した
一部と思います。心の〇〇とは、多感な青
人、先輩、あるいは三田高校そのものだと
を容認するくらいなら、これからの卒業生
役を任った方が良いと思います。運営を続
らなる赤字を生み、会の財政状態を悪化さ

員だけにしかメリットがないならやめるの
。継続するには利用者を増やすしかありま
た方がいように思います。(45回生)

とする。せいぜいコーヒールーム。(8回生)
策は一言ではいえないがイベント性のある
山荘利用検討チームを幅広い世代のメンバ
る。委託管理業者についても検討する等。



問③ ワカバ山荘を閉鎖した場合、それに代わる同窓会の厚生
施設等は必要だと思いますか。あるいは、会員の皆様に喜
んでいただけるような他の事業がありましたら、是非お書き
ください。

◆個人的には必要としません。校内もしくは近くにクラブのよ
うな施設ができ、運営内容が充実すれば興味をもつと思いま
すが、大変難しいことではないでしょうか。(9回生)

◆山荘に代わる厚生施設を持つことは無理だと思います。
(5回生)

◆施設を持つ必要はないと思う。ホームページを開き、それを
活用して日常的な活動をもっと頻繁に行い、必要ならばその
時々施設を借りるようにすればよい。ハードよりソフトに
お金を使う方が時代にあっていていると思います。(10回生)

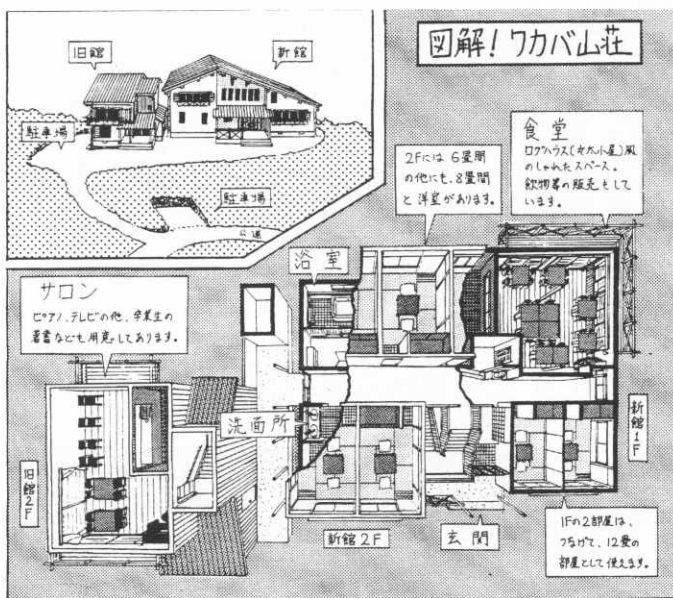
◆赤字なら必要なし。同程度のサービスは他にいくらでもある
でしょう。ワカバ会しか出来ない卒業生に対するサービスは
何か? サービスの質を向上させることが、ワカバ会を存続
させうるでしょう。サービスに対価を要求するのは当然なの
ですから。少なくとも自由にアクセスできるホームページは
早く作ってほしいと思います。(28回生)

◆新しい施設の建設はお金がたくさんかかるので不要だと思
います。それなら、ある期間既存の文化施設や宿泊施設を割安
で利用できるようにしたり、入場料(美術館等)を安くでき
たりする方が利用しやすく、負担も少ないのではないでしょ
うか。(45回生)

◆他の事業として会員のための同窓会館を建ててはいかがでし
ょうか。日比谷高校のようにやれたら、素晴らしいと思いま
す。(7回生)

◆ホームページを活用して、会員どうしで、有償、無償のボラ
ンティアを募り、人材バンクのようなものを作る。例えば中
高年のPC講座の講師派遣なども行い、皆がインターネット
に親しむ為の中心的役割りをになうという事などもよいと思
います。(10回生)

◆同窓会の厚生施設はいらないと思うが、事務局の拠点と文化
活動中心地及び発信地は必要。今のように事務局が校内にあ
るメリットはほとんどない。(19回生)



わかば32号(平成2年)山荘特集より

問① 過去にどのような形でワカバ山荘をご利用いただきましたか。(いつどのような機会に、頻度など)また、その際にどのような感想をお持ちになったかお聞かせください。

- ◆ 私は88歳になってしまいましたが、つい3年位前までお友達をおさそいして毎年3日間くらい山荘に伺っていました。朝、鳥の声で目がさめる自然の中でのよい所ですが、駅から遠い為、車代がかかるので利用者にとっては大変だと思います。(第六高女4回生)
- ◆ 卒業してすぐ高校の友人と旅行に。(旧館)家族ができてからは夏の旅行に。様々な友人と親睦に。「心のこもった清潔な温かい」よい所でしたが、なぜ赤字なのでしょう?(22回生)
- ◆ 10年余前に同期生6名で利用させていただきました。(一度きりです。)アルバイトの学生さんを含め従業員の方たちは感じが良く静かな良い所でしたが、駅から大変遠いと思いました。(9回生)
- ◆ 1997年、2001年の夏、加藤先生のコーラスのつどいに参加。はじめての時の印象:①一般の客としてまた行きたくなるような雰囲気ではなかった。(座イスがない、ロビーなどくつろげるところがない)②食事はおいしく管理人など施設の人の印象はよかった。③旧館、新館共、施設全体がいろいろな面で宿泊環境として居住性にめぐまれていると感じなかった。(19回生)
- ◆ 3回ぐらい利用しました。食事やサービスはよかったのですが、駅から遠くて不便です。(9回生)
- ◆ 夏休みの家族旅行、過去3回利用。安い、予約が希望どおり、自家用車が必要なロケーション、お部屋が少しかび臭い、子供向けの食事メニューが欲しい。(28回生)
- ◆ 夏休みに家族で利用させていただきました。(10年位前から4回ほどでしょうか)お食事が美味しく毎回たいへん満足いたしております。お世話をしてくださる方々も親切でありがたく思っております。(30回生)

軽井沢山荘 あなたはど

ワカバ会軽井沢山荘(以下ワカバ山荘)とされていることは、おわかりいただけたとされ、利用されてきただけに、惜しむ声も。今回、利用者の中から十数名の方にお願(ご意見をお聞かせいただいた方々には)以下がその結果です。これらのご意見、ご意見をお待ちしております。このたびはご利用ください。

是非ご意見を

電話:
FAX:
E-mail:

問② 山荘経営が困難な状況にあることは、営を続けるべきだとお考えでしょうか。それですが、それを解決する具体策が

- ◆ 続けるべきではないと思います。理由は温泉ではないなど、現在以上集客は望めず、一代が嵩んで、普通の旅館に泊まったのと同じです。
- ◆ 赤字経営を解決する具体策はありません。利用者の方を増やすのはどうしたらよいのか。一つはネックになっていると思いますので、一人又は二人で利用させます。(5回生)
- ◆ 閉鎖し、売却の方がよいと思います。
- ◆ ワカバ山荘は三田高卒業生の心の〇〇と人(延べではなく)は、全卒業生の心の〇〇と春時代、悩み、喜び、共に語り合った思い出です。従って山荘で赤字を出すことは、三田高自身に使い、良き〇〇の〇〇けるべきではないと思います。赤字が赤字で済ませます。(22回生)
- ◆ 続けて欲しいという気持ちと、一部の金持ちもやむをえないという気持ちと半々です。ワカバ山荘のPRをもう少し変えたい。
- ◆ 発想を変える必要がある。例えば食事など。
- ◆ 運営を続けてほしいと思う。解決の具体策はグループ等固定客を増やすようにする。一で構成して発足し、赤字の削減を考えた。(19回生)

わたしの子育て

5-A 野依 鈴子

この度は野依良治受賞に際し御丁重な御祝詞賜りありがとうございます。皆様のお蔭様と感謝いたしております。大して出来のよい子でもなく普通のヤンチャ坊主でさぞ先生方お友達に御迷惑おかけしました事でしょう。戦中戦後の物も心も貧しい時代に育ち母親の私は躰より食べる事に追われ遊び盛りの息子は二人の弟、近所のお子さん方と日の暮れるまで野山を駆けておりました。まあ放任主義というところでしょうか。進学もはらはらしながらどうやら大学までついてゆきました。それから先は本人を信頼して自分の努力と目標に任せました。亡父は化学会社の研究者で、桜田一郎先生を尊敬して化学の道へ進み今日に至りました。この上とも健康で自分の目指した道を皆様のお助けまじとお導きのもとにつけてほしいと思っております。

(註) 野依鈴子さんは、昨年ノーベル化学賞を受賞された野依良治氏のお母様です。

12-A 級会報告

12-A 山名 茂登

昨年十一月二十六日、何十回目かの級会をニューオータニ(赤坂)の「ほり川」で開催、出席十八名、当番は若松・長竿のお二人でした。私たちの級は戦時中の一時期を除き



毎年春秋の一回

(時には一泊旅行も含め)

当番制で級会を開いていきます。出席者は昨春までは毎回二十数名、と入学当初から卒業までお世話

になった中西憲三先生亡き後も、仲良し振りを誇って来しました。でも集いの中味はひと頃は子どもの進学話が花盛りでしたが、近年は廻りの方々や自身の体調問題を同じテンプルの人と交わす位の淡々としたものでした。

然し昨春の級会通知のお返事に、一度に二人もの御主人様から「妻は亡くなりました」との事で、驚きと同時に改めて「平穩無事」の有り難さを噛みしめ、次回での再会を誓い合いました。

七回生同期会

7-7 小川しげみ(山田)

高校七回(昭和三〇年卒業)の集まりが二月一日の土曜日午後二時より新宿伊勢丹ブチモンド八階のカフェラウンジでひらかれました。

午後のちよつとはんばな時間でした。が八十人余りが出席して盛会でした。恩師元木光雄先生もお元気なお姿をおみせになり、なつかしい昔の話や近況にはながさき、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

元木先生のお若い時には毎回おどろかされますが、そのお姿を拝見するとわたしたちも負けてはいられないという気持ちになつてきます。先生いつもでも元気なお顔をお見せください。

また幹事の方々のご努力で福引きなども行われ、お土産まで頂き得をしたような暖かな気持ちで、次回はいつころかなあ、また元気で会いしましょうなどとお名残をおしみつつ家路につきました。

東海支部同窓会

8-5 桑山 久代(渥美)
15-2 石井 暁子(笠井)

今年の東海支部同窓会は、酷暑の後的大型台風15号が通過し、アメリカのテロ事件直後の九月十三日(木)ボス

トン美術館と併設の、全日空ホテルの「ホテルグランコート名古屋」で開かれ、第六高女七回生の上田千鶴さんから三田高女二十九回生の鈴木佳美さんまで二十一名の方々が集まり話に花が咲きました。

日本人としての意識をはっきり持つことを若者に伝えたいとか、ボケない秘策としていつまでも興味を持ち続けることとか、特に第六高女の方々のすばらしい生き方等、時間が足りない位でした。最後に第六と三田の校歌を皆で大きな声で歌い「また逢うその日までさようなら」と輪唱してお開きとなりました。とても楽しく、あつと言う間の半日が過ぎました。

十二回生同期会

12-3 鈴木 茂晴

四十年以上の親友小野、野口、山本君とあうんの呼吸で役割分担。快晴の当日ルックス以外は共有した青春時代に戻れた。ただ初期化の効果は短くなり、最近では二年毎に会をやっている。フォークダンス、第九、三津浜の臨海、妙高のスキー、それに期末試験が終わる度に企画したハイキングやサイクリング、クリスマスや新年会。物がない頃なのに楽しかった話に事欠かない。軟弱男ばかりでなく、慶応、伊藤忠、全日本で大活躍した名ラガー堀越慈君。馴染めなかったよと言っていたが、彼の存在は我々には心強い。毎回



鳥取から朝一で駆けつける足立君も刺激的な紳士だ。女性の活躍や魅力に溢れきっている三田だけに、ここでは精一杯男の話に終始した。エッヘン。

(平成13年10月)

三田同期会へようこそ



16・17・18歳に初期化完了。
さあ気分一新で
21世紀ステップの開始です。

お互いに
お身体も気分も大切に。

20年後も元気に三田同期会へ



加藤先生のリサイクル

19-4 石井 啓子(渡辺)

「わかば」50号に案内がありましたように、昨年の十一月二十五日に飯田橋のトッパンホールにおいて加藤恭三子先生のソプラノ・リサイクルがありました。まだ出来て日の浅い綺麗なホ

わか

同期会、クラス会、
OB会、支部会など、
同窓生のお集りなら
なんでも結構です。
楽な原稿を寄せ
是非お下さい。

ールで、先生の素晴らしいお声を聞きながら、私は至福の一時を過ごさせていただきました。
ご存知の方もたくさんいらっしゃると思いますが、先生は三田高校で十六年間歌を教えてくださいました。私にとつて、週一回の音楽の時間は、とても楽しかったのを覚えております。
その加藤先生が、阿佐ヶ谷駅(火曜日)と恵比寿駅(水曜日)のそばで月二回ずつコーラスの指導をして下さっており私も参加しています。
コーラスにご興味のおありの方は石井(03-3776-1591)までお電話下さい。子育てが一段落された方、身体にいい事始めたい方、いらしてみませんか。

ガンちゃんを囲む会

52-2 池田 英光

去る八月二十五日、秋葉原にある『炬燵』にて二〇〇一年に退職なさった岩田義範先生を囲んで親睦会を開きました。私は同期の市川君と二宮君と共に幹事を務めました。当初は生物部のOB会の予定でしたが、生物部以外のOB、OGも多数集まってくれ、ま

た亀井 祐子先生、日野綾子先生もお忙しい中お越しください。大変にぎやかな会となりました。



それぞれ懐かしい顔や初めての人と高校時代の話や近況報告など話題も尽きず、岩田先生にも楽しんでいただけようで非常に楽しい会でした。他の先輩方にも声をかけたかったのですが連絡先が分からず、結局お誘いできませんでした。

今回の写真はHPに貼ってあります。URLは <http://akasaka.cool.ne.jp/mitanamaobc/> 生物部OBや他のOB、OGの近況なども載っています。

またこんな会を開きたいと思っておりますので岩田先生とお会いしたいとか後輩と交流を深めたいという方は是非池田までご連絡ください。

メールアドレス
hide3tu@aol.com

ではまた八月にでも会いましょう。

ワカバ会行事 「イメージ書」に参加して

(戸田雅子さん(19回)の知人 入澤久美子)

会員のお誘いで参加させていただきました。普段から字を書くことには関心がありましたが、名護先生のように考えて書いたのはじめてで目新しく楽しい作品作りでした。「自分の気持ちを表す字を書こう。」これが今回の講習の目標でした。まず、テーマを決め、字を決めました。どう表現するかを考えて書くのです。線質の違いや、字の外側の形の変え方などアドバイスを受けながら取り組みました。自分で一度作り上げてしまった「字形」を変えることの難しさを知りました。草稿が何とが出来上がった後は、彩玉ボードに彫り、自分の気持ちを表すに相応しい色も付けました。短時間でしたが、皆個性的な作品が完成しました。手本を見て書くことしか頭になかった私にとって新鮮な楽しい時間でした。また、機会があったら是非参加させてください。



(平成13年10月1日実施)

情報ひろば

◆新刊紹介

- ①『日本が「神の国」だった時代』岩波新書(新赤版) 764

著者: 入江曜子(春名殷子(加藤))(5-1))

発行所: 岩波書店 定価: 740円+税

元号法、国旗国歌法、「日本は天皇を中心とした神の国」発言、国際協力は「戦場に日の丸を見せること」という発想まで、主権在民と平和をうたう現憲法が骨抜きになっていく……最近のこの戦前帰帰現象への小さな歯止めとなることを願って岩波新書『日本が「神の国」だった時代 国民学校の教科書を読む』を出版しました。

出口の見えない不況、自由主義教育への反動と現在に重なる状況のなかで、国家がどのような国民の育成を目指したか。皇民教育の実態を、学年ごとの重要課題を中心に、教科書の文言を多く引用して教科書そのものに語らせた試みです。

教育によるマインドコントロールの恐ろしさは決して過去のものではないと感じています。

- ②『MY LIFE』

著者: 猿橋勝子(10-A)

発行所: 内田老鶴圃 定価: 本体2,500円

『わかば』第44号に「明るい未来のために」と題して10-Aの猿橋勝子さんの文章が載っているが、猿橋賞が一昨年20回となったのを記念して、受賞者20人の英文エッセイ集“MY LIFE”が先日内田老鶴圃から出版された。数学・物理学・化学・生物学などいろいろな分野ですぐれた業績をあげた人々が、日本や欧米だけでなくアジアその他の国々の女性研究者に希望と夢と勇気を与えようとして書いたこの本を、三田高卒業生の皆さんに広くおすすめしたい。(紹介者) 広瀬昌一(旧職員)

情報ひろばはあなたのひろばです。どしどし情報をお寄せください。

◆CD紹介

Two For The Road/三橋りえ 3,000円

三田高校を卒業後、ジャズボーカリストとして活動する私、三橋りえ(内堀りえ子(24-1))が待望のCDデビューしました。マーサ三宅に師事し、原信夫とシャープス&フラッツの共演にてプロ活動をスタート。結婚や出産を経て、気持ちも新たに吹き込みました。会報にて知った恩師の故高橋登志先生への御報告と共に、皆様へお知らせします。

連絡先 MUSAC MUSIC

TEL042-391-9663 FAX 042-394-4227

<http://home3.highway.ne.jp/musac>

(銀座山野楽器店でも販売中)

◆三田フィルハーモニーオーケストラ

第11回定期演奏会

日時: 2002年6月8日(土)

開場 18:00/開演 18:30

入場無料全席自由

会場: 大田区民プラザ大ホール

(東急多摩川線下丸子駅前)

指揮者: 嶋志田達哉氏(当団常任指揮者)

管弦楽: 三田フィルハーモニーオーケストラ

(旧三田高校OBオーケストラ)

曲目: ベートーヴェン/交響曲第5番ハ短調作品67「運命」

ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調作品26

ヴァイオリン独奏 浦田美穂子(古閑)(45-5)

皆様のお越しを団員一同、心からお待ちしております。

◆団員募集のお知らせ

当団では、現在私たちと一緒に演奏してくれる仲間を大募集しております。高校在学中のクラブ、年齢などは一切問いません。どうぞお気軽に見学にお越しください。詳しくは、代表までお問い合わせ下さい。

問合先: 甲斐順也(44-8)

TEL 03-3456-8702

◆第29回生25周年同期会

秋期開催準備中

幹事: 平山孔嗣(29-2)

E-mail czf12361@nifty.ne.jp

幹事会はワカバ会総会にて

追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

		所属	逝去年月			所属	逝去年月
鈴木 晋		旧職員	平成12. 2	川崎 田鶴 (本橋)		10-エ	13. 7
中村 淳		旧職員	13. 7	荏部 日出子 (犬飼)		12-ウ	12. 5
長岡 清		現職員	13. 7	大森 美代子 (鈴木)		14-イ	13. 2
石坂 春子 (野村)		1-C	13. 5	鈴木 美代子 (鈴木)		14-ウ	13. 2
小澤 いと (加瀬)		1-D	13. 12	いぬいとみこ (乾 富子)		14-エ	14. 1
植松 久子 (植松)		1-E	13. 10	大野 フミ (上田)		16-エ	13. 5
内田 徳子 (中山)		2-A	13. 6	児玉 和子 (藤原)		18修ア	13. 7
日向 寿子 (森)		2-C	14. 2	山田 元子 (佐武)		19-ウ	13. 11
斎藤 悦子 (佐藤)		2-D	13. 12	鈴木 シヅ子 (鈴木)		19-オ	14. 1
田中 綾子		3-C	12. 10	斎藤 映子 (田村)		19-オ	13. 7
中山 せつ (神谷)		3-C	14. 1	阿部 玲子 (道村)		22-ア	
泉 ハル (安永)		3-C	10. 11	井上 佳子 (小野)		22-イ	13. 5
榎本 悦子 (高橋)		4-エ	13. 5	鏡 おさ子 (柏木)		22-エ	13. 10
佐藤 百合子 (立石)		4-エ	13. 6	鈴木 美恵子		4-7	13. 4
河西 道子		4-オ	13. 5	飯塚 一江 (鈴木)		5-7	13. 6
村井 幸子 (木崎)		5-イ	13. 11	門叶 祥子 (蓬萊)		6-2	11. 2
中田 照枝 (仁熊)		5-エ	14. 2	渡辺 美智子 (山崎)		6-2	12. 10
大橋 綾子 (宮内)		7-ウ	12. 2	塚崎 美保子 (志村)		12-2	13. 2
宮原 美津		8-イ	13. 8	北村 久美子 (山口)		32-4	14. 1

平成14年度 企画委員会主催行事

別紙連絡用紙でFAX、または電話、メールでお申し込みください。

ワカバ会の
会員以外の方も
参加できます

① <住まいのお話>

～バリアフリーも考えながら～

期日：2002年5月30日(木) 午後2時～4時

場所：三田高校応接室

講師：後藤眞理子先生(19-7) 一級建築士

内容：事前に参加者のアンケートをいただき、
質問に答える形式

会費：2,000円(資料・茶菓代)

申込締切：2002年5月10日(金) 定員25名

② <第9回室内ゲーム(健康麻雀)大会>

期日：2002年6月5日(水) 午前11時～5時

場所：J R市ヶ谷駅下車(徒歩5分)

千代田区九段4-7-17杉喜ビル4F
“新樹”

講師：健康麻雀指導者 田中正道先生

ニュース：2008年北京オリンピックに健康麻雀
が参加種目となる。

会費：4,500円(会場費・昼食代・賞品代)

申込締切：2002年5月27日(月) 定員32名

③ <音楽療法・入門篇>

～音楽はやさしく、力があります～

期日：2002年9月7日(土) 予定 午後1時～3時

場所：三田高校応接室

講師：土野研治先生(昭和音楽大学助教授)

内容：ビデオを使いながら音楽療法を解説

会費：2,000円(資料・茶菓代)

申込締切：2002年8月26日(月) 定員25名

④ <イメージ書・パートII>

期日：2002年10月1日(火) 午後1時～4時

場所：三田高校応接室

講師：名護幸江先生

(都立三鷹・調布北高校講師)

内容：文字から受けるイメージを自分なりに表
現してみよう。

会費：3,000円(材料費・茶菓代)

申込締切：2002年9月20日(金) 定員20名

⑤ <暮らしの中の法律相談>

～参加者のアンケートをもとに～

期日：2003年1月26日(日) 午後1時～3時

場所：三田高校応接室

講師：笠原俊也先生(15-4) 弁護士

内容：参加者の身近な質問・相談に答える。

会費：1,000円(茶菓代など)

申込締切：2003年1月15日(水) 定員25名

⑥ <古都鎌倉の新しい魅力を探る③>

～第6回ワカバ会小さな旅～

期日：2003年4月4日(金) 午前10時～5時

集合場所：J R横須賀線 北鎌倉駅

見学場所：北鎌倉を中心にした神社・仏閣等

講師：中村 實先生(東北文化学園大学教授
専門：観光学・交通論)

参加費：4,000円(保険料、参拝・見学科、資料他)

昼食は各自随意のため含まれません。

申込締切：2003年3月24日(月) 定員25名

※ いずれの行事も最少催行人数10名といたします。

母校・校章の花



カワラナデシコ (Dianthus superbus L.)

可憐な花なのに風に吹かれても倒れぬ、しなやかで強い茎を持っています。自然界のナデシコは花弁が5枚です。岩田義範先生が本校ご在職中に玄関前に植えてくださり、今年も咲くのが楽しみです。

平成14年度 先生方のご異動 (敬称略)

教 科	転 出		転 入	
	氏 名	新所属	氏 名	旧所属
国語	西岡 昭雄	上野高校	上野 邦江	南高校
地歴(世界史)	長岡 清	退職(ご逝去)	佐々木雅子	桜水商業高校
数学	休職補充		大塚 文隆	大泉北高校
生物	日野 綾子	南葛飾高校	芳賀紀久美	篠崎高校
保体	休職補充		宮崎 聰之	品川区立伊藤中
音楽	平松 剛一	桜町高校	村重 庸子	永福高校
英語	樋口 和嗣	小山台高校	水元 啓蔵	永福高校
嘱託(日本史)	斉藤 光司	退職		
嘱託(地理)	永峯 隆夫	退職		
事務(主任)	栗原八重子	蒲田高校	前田斗志夫	八潮高校
事務	浅沼 真紀	南高校	石切 和美	西高校
用務	加藤 廣江	芝商業高校		
司書(主任)	菅原 和美	雪谷高校	藤田美恵子	南高校

御 寄 付 御 礼

- ◆第六高女12-ア組の皆様から、2万円の御寄付をいただきました。ありがとうございました。

募 集 !!

ワカバ会の事務局(三田高校6階)に勤務してくださる方を3名募集します。

勤務条件

通勤週3日又は2日(月～金)勤務可能で、高校25回生以降の方で、パソコンの出来る方を希望しています。勤務時間は午前10時から午後4時、稀に時間外をお願いする事もあります。勤務手当は時給850円、交通費は実費支給。

また、常勤できる方(週5日)がありましたらお申し出ください。詳細は面談の際申し上げます。

応募ご希望の方は、5月15日までに履歴書をワカバ会「総務委員会」宛にお送りください。

(理事会総務委員会)

ワカバ会駐車場

(所在地: 大田区鵜の木3-32-10)

お近くにお住まいの方は、どうぞご利用ください。駐車場料金等詳しいことはワカバ会事務局までお問い合わせください。

事務局 だより

- ◆ワカバ会はメールアドレスを取得しました。

E-mail: t-mita@wakaba-kai.org
日常のご連絡の他、今後の山荘についてのご意見をお寄せくださる手段として、どうぞ積極的にご利用ください。なお、ホームページについては準備中です。

- ◆クラス会、同期会の幹事の方には名簿、宛名プリントアウト(有料)を承りますのでどうぞご利用ください。

- ◆事務局員の小岩井ルリ(堀田)(12-4)さん、星名久子(鷹取)(19-1)さんが退職されました。長い間ワカバ会のために勤めていただきました。ありがとうございました。

編 集 後 記

- ◆ 今回の広報紙「わかば」は山荘の特集とさせていただきます。それは、私も含めて、おそらく大半の会員の方が存在は知っていても、ご利用された経験はなく、また経営状況についてもよくはご存知ないと思われるからです。

この春号で山荘に関する状況を少しでも知っていただき、皆様のご意見を伺えれば幸いです。

ワカバ会は三田高校の卒業生の皆様のための会です。表紙にも書きましたように E-mail やホームページの活用により、即時性のある情報提供や皆様のご意見を反映しやすい形で会の運営を行っていかれると思います。

(なおホームページは現在準備中です) (T)